

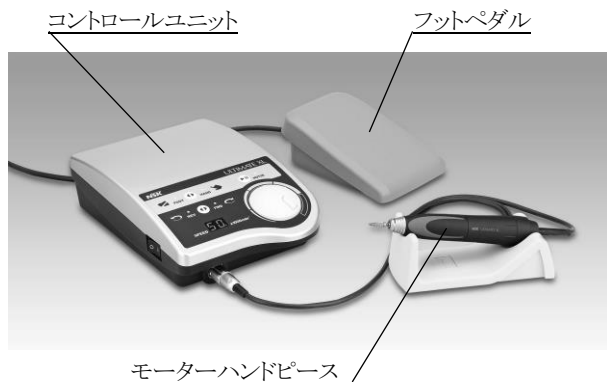
機械器具 61 歯科用ハンドピース
一般医療機器 歯科技工用電動式ハンドピース 70746000

アルチメイト XL

**【形状・構造及び原理等】

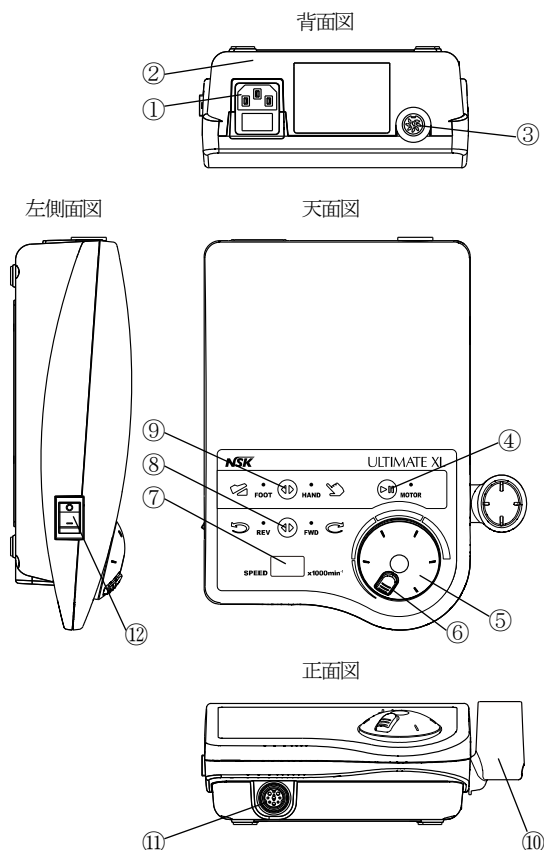
1) 構成

＜アルチメイト XL (代表モデル)＞



2) 各部の名称

＜コントロールユニット＞



名称		
① インレットボックス	⑦ インジケーター	
② カバー	⑧ 正逆回転切換スイッチ	
③ フットペダルコネクタ	⑨ ハンド/フット切換スイッチ	
④ モータースイッチ	⑩ ハンドピースホルダー	
⑤ 回転速度調整つまみ	⑪ モーターコネクタ	
⑥ 回転速度制限解除ボタン	⑫ 電源スイッチ	

3) 構成品

＜コントロールユニット＞

番号	製品名	型式	備考
1)	アルチメイト XL	UMXL-G	卓上タイプ
2)	アルチメイト XL-D	UMXL-D	卓上縦置きタイプ
3)	アルチメイト XL-K	UMXL-K	膝コントロールタイプ
4)	アルチメイト XL-F	UMXL-F	床置きタイプ

コントロールユニットの形状の違いにより、セット品は以下のモータータイプに分かれている。

番号	製品名	型式	モータータイプ
1)	アルチメイト XL	UMXL-GT	トルクタイプ
		UMXL-GC	コンパクトタイプ
2)	アルチメイト XL-D	UMXL-DT	トルクタイプ
		UMXL-DC	コンパクトタイプ
3)	アルチメイト XL-K	UMXL-KT	トルクタイプ
		UMXL-KC	コンパクトタイプ
4)	アルチメイト XL-F	UMXL-FT	トルクタイプ
		UMXL-FC	コンパクトタイプ

＜モーターハンドピース＞

モーターハンドピースは、モーターとハンドピースを組合わせたものである。

番号	型式	型式 (モーター)	型式 (ハンドピース)
1)	UMXL-TP	UMXL-TM	UHRXL-TP
2)	UMXL-TP2M	UMXL-TM 2M	UHRXL-TP
3)	UMXL-C	UMXL-CM	UHRXL-C
4)	UMXL-C2M	UMXL-CM 2M	UHRXL-C
5)	UMXL-MMH	UMXL-MM 2M	MMH-100

＜モーター＞

UMXL-TM/TM 2M/CM/CM 2M/EM/MM 2M

＜ハンドピース＞

UHRXL-TP/C、MMH-100

4) 仕様(電気的定格含む)

＜コントロールユニット＞

	UMXL-G	UMXL-D	UMXL-K	UMXL-F
回転速度	1,000～50,000 min ⁻¹			1,000～ 40,000 min ⁻¹
回転方法	時計方向及び反時計方向			
オートクルーズ (回転速度 維持)	機能あり			

＜モーターハンドピース＞

	トルクタイプ (UMXL-TP、UMXL-TP2M)	コンパクトタイプ (UMXL-C、UMXL-C2M) (UMXL-MMH)
最大トルク	8.7N・cm	6.0N・cm

電源:AC100V 50/60Hz

電源入力:46VA(定格消費電力:30W)

電撃に対する保護の程度による装着部:該当なし

電撃に対する保護の形式:クラス I 機器

この他、詳細については、取扱説明書の仕様を参照。

5) 動作保証条件

下記の条件にて使用すること。

温度:0 - 40℃

湿度:30 - 75%

取扱説明書を必ずご参照ください。

6)原理

＜モーターハンドピースを使用する場合＞

コントロールユニットから供給された電力によって、マイクロモーターが回転する。その回転をハンドピースが受け、ハンドピースに装着した歯科技工用回転器具が回転する。

＜タービンアダプターを使用する場合(アルチメイトXL-D、アルチメイトXL-K、アルチメイトXL-Fのみ)＞

コントロールユニットから供給された電力によって、別売りの空気圧力調整ユニットを駆動させ、圧縮空気を技工用ガス圧式ハンドピースに供給する。圧縮空気によりハンドピース内のタービンが回転し、その先端に装着した歯科技工用回転器具が回転する。

【使用目的又は効果】

歯科技工における切削・研磨作業に用いる。

*【使用方法等】

1)使用前準備

- ① コントロールユニットにモーターハンドピース、電源コードを接続する。フットペダルで回転速度をコントロールする場合は、フットペダルも接続する。
＜タービンアダプターを使用する場合(アルチメイトXL-D、アルチメイトXL-K、アルチメイトXL-Fのみ)＞
コントロールユニットにタービンアダプターを接続する。
- ② 電源コードをコンセント(AC100V)に接続する。
- ③ 回転速度調整つまみを最低の位置(左へいっぱい回した位置)に回す。(アルチメイト XL-F除く)
- ④ 電源スイッチをONにした後、パネル上のスイッチ類を操作し、作業条件を設定する。アルチメイト XL-Fは、メインスイッチを入れた後、パネル及び背面のスイッチ類を操作し、作業条件を設定する。
- ⑤ モーターハンドピースに歯科技工用回転器具(以降はバーという)を装着する。
- ⑥ 【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い使用前点検を行う。

2)使用方法

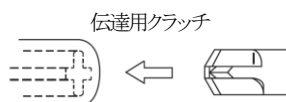
モータースイッチ、フットペダル、膝コントローラー又はスピードコントロールペダルを押し、バーを回転させながら作業を行う。

3)使用後

- ① モーターの回転を停止させ、電源スイッチをOFFにする。
- ② モーターハンドピースからバー及びチャックを取り外し、【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い清掃を行う。

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- ・使用前点検時、又は使用中にガタつき、振動、音、温度(発熱)等の異常を感じた場合、直ちに使用を中止し、取扱説明書に記載の方法に従い対処すること。
- ・バーは製造販売業者が指定する許容回転速度内に回転速度調整つまみを設定してから使用すること。(アルチメイト XL-F除く)
- ・切削刃部の大きいバー(φ4mm以上)を使用する場合は、なるべく低い回転速度で使用する。
- ・モーターハンドピースにバーを装着後、バーを引いて確実に装着されていることを必ず確認すること。
- ・装着するバーのシャンクはゴミ等の付着がなく清潔なものを使用すること。
- ・回転中のバーには触らないこと。[けがのおそれ]
- ・モーター部にハンドピース部を接続する時、急にねじ込みがきつくなる場合がある。これは、モーターとハンドピースの回転伝達用クラッチが正しく咬み合っていない状態のため、この時無理にネジを増し締めすると回転不良の原因になるおそれがある。1度ネジを緩めてハンドピース部のチャック又はバーを回し、回転伝達用クラッチが正しく咬み合っていることを確認してから再度締めること。



- ・ヒートレスホイール、ビッグポイント等頭部の大きなバーを使用する際、研磨物に強くあて急に離すような操作をしないこと。回転を下げてからバーを離すようにすること。[ホイール等のバランスが崩れ飛散やバーが曲がる等の原因になるおそれ]

- ・モーターハンドピースの着脱は、電源スイッチをOFFにし、モーターの回転が完全に停止してから行うこと。
- ・コントロールユニットは室温0～40℃の範囲内で結露がない状態で使用すること。
- ・保護回路が作動するような負荷での使用はなるべく避けること。[モーターの発熱やバー破損、モーターハンドピースの早期摩耗のおそれ]
- ・チャックが摩耗した時は新しいものへ交換すること。
- ・製造販売業者が指定する電源コード以外のコードをコントロールユニットに接続して使用しないこと。[感電、火災、故障のおそれ]

*【使用上の注意】

1)重要な基本的注意

- ・切削時は保護メガネ、研磨ボックス、バキューム等を使用すること。
- ・曲がり、変形、錆、欠け、折れ、傷、摩耗等がみられるもの、又はISO規格外のバーは使用しないこと。[バー破損によるけがのおそれ]
- ・バーの製造販売業者が指定する許容回転速度を超えて使用しないこと。
- ・ディスクを使用する際、低い回転速度で使用する。[破損、飛散のおそれ]
- ・砥石は必ずドレッシングしてから使用すること。[破損、飛散によるけがのおそれ]
- ・モーター回転中は、モーターハンドピースのチャック開閉リングを回さないこと。特にバー交換の際は、回転が完全に停止してから行うこと。[モーターハンドピース破損のおそれ]
- ・チャック開閉リングがOPENの位置やバーを取り付けていない時は、モーターを回転させないこと。[モーターハンドピース故障のおそれ]
- ・本品の周囲に可燃性ガス又は液体等のないことを確認してから使用すること。
- ・コントロールユニットやモーターハンドピース外装の変形、部分的な変色に気が付いた時は、直ちに使用を中止すること。[感電、火災のおそれ]
- ・煙が出たり、樹脂の燃えているようなにおいがする等の異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチをOFFにして、電源プラグを取り外すこと。
- ・万が一の時、速やかに電源コードがコンセントから抜けるように、コントロールユニットの後ろに10cm位の間隔を確保するように設置すること。
- ・コード類はガスバーナーの近くを通らないようにすること。もし、コードが燃えた場合は、補修せず新品に交換すること。[ショートによる感電、火災のおそれ]
- ・保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場所で使用しないこと。
- ・ストーブ等の熱源のそばに放置しないこと。[変色、変形のおそれ]
- ・本品に水、生理食塩水、薬品等がかからないようにすること。
- ・モーターハンドピースは絶対に注油しないこと。[発熱、故障のおそれ]
- ・本品に消毒液、水、生理食塩水等が付着した場合は、電源スイッチを1度OFFにして、かたく絞った布で拭き、その後乾いた布でよく拭き取ること。
- ・酸化電位水(強酸性水、超酸性水)、強酸、強アルカリ性の薬剤、塩素含有の溶液、ベンジン、シンナー等の溶剤で洗浄、浸漬、拭き取りをしないこと。

2)その他の注意

落下等の強い衝撃を与えないこと。

*【保管方法及び有効期間等】

1)保管方法

下記の条件にて保管すること。

温度:-10 - 50℃

湿度:10 - 85%

気圧:500 - 1,060hPa

2)耐用期間

製造の日から、正規の保守点検(消耗部品の交換を含む)を行った場合に限り7年間[自己認証(当社データ)]によるとする。

*【保守・点検に係る事項】

1)清掃

＜チャック＞

週に1度、超音波洗浄器等で清掃する。

取扱説明書を必ずご参照ください。

・清掃に関する注意

- 清掃前に必ずコントロールユニットの電源スイッチをOFF にすること。
- チャックの清掃を怠らないこと。[チャック内にワックス、石膏がたまり、バーの浅噛み、芯振れの原因になるおそれ]

2) 使用者による保守点検事項

＜使用前点検＞

モーターハンドピースを回転させた時、ガタつき、振動、音や発熱等の異常がないことを確認する。(毎回)

＜定期点検＞

モーターハンドピースにバーを取り付け、モーターハンドピースを回転させた時、ガタ、振動、音や発熱等の異常がないことを確認する。
(3カ月毎)

＜ヒューズの交換＞

取扱説明書に記載の方法に従い交換する。(適宜)

3) 業者による保守点検事項

専用治具、測定器を使用した点検整備については、販売業者までご連絡ください。1年に1回の点検を推奨します。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:株式会社ナカニシ

ナカニシお客様相談窓口

 0120-7242-56

受付時間 9:00～17:00(土日・祝祭日を除く)

TEL:0289-64-3380

FAX:0289-62-5636